



## 7. 「子どもの心の診療医」指導医研修

### 【目的】

心に何らかの問題を持つ子どもへの対応が求められているが、子どもの心の問題は、虐待を受けている子どもの心、発達に障害を持つ子どもの心などによって対応も大きく変わる。今般は、虐待、小児心身症、発達障害に焦点を当て、最前線で対応されている方々を講師に、最新の情報、現場での対応について考える。

- 【目標】
- ・それぞれの最新の情報を得る。
  - ・現場での対応に生かせるようにする。

【対象】 地域の小児科医に伝達できる立場の小児科医

【視聴期間】 令和3年2月1日(月)～28日(日)

【実施主体】 主催 厚生労働省 委託先(事務局) 公益社団法人 母子保健推進会議  
共催 公益社団法人 日本小児科医会

【お申込み】 母子保健指導者養成研修特設ウェブサイトよりお申込みください。  
<http://bosui.or.jp/koroseminar/>

【申込締切】 令和3年1月25日(月)

### 【プログラム】

時間 (予定)	内 容	講 師
30分	行政説明「最近の母子保健の動向」	厚生労働省子ども家庭局母子保健課
60分	講義Ⅰ 「チック・トゥレット症の臨床」	医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学 クリニック理事長 星野 恭子
60分	講義Ⅱ 「誰でも知っていなくてはいけない虐待対応(BEAMS Stage1)」	前橋赤十字病院小児科副部長 溝口 史剛
60分	講義Ⅲ 「気になる子どもの見立てとコツ」	公益社団法人 日本小児科医会理事 あきやま子どもクリニック院長 秋山千枝子
60分	講義Ⅳ 「起立性調節障害～明日から使える診療テクニック～」	関西医科大学総合医療センター 小児科診療科長 教授 石崎 優子
50分	講義Ⅴ「コロナ禍の子どものころ～『コロナ×こどもアンケート』から考える～」	国立成育医療研究センター こころの診療部児童・思春期リエゾン 診療科診療部長 田中 恭子

合計時間5時間20分

敬称略